平成 27 年度 協働パイロット事業「課題テーマ」一覧

今年度は、各事業所管課から7件の課題テーマの提示がありました。

以下の内容をご確認いただき、静岡市の抱える課題の解決のため、貴団体のお力をお貸しください。

	: 画課 : 221-2114)
静岡市では現在、人口減少問題を抱えております。そのため、首都圏からのすることとし、移住希望者の相談窓口として東京に「静岡市移住支援センター	221-2114)
することとし、移住希望者の相談窓口として東京に「静岡市移住支援センター	
市の 抱 える この後のフォローまで、静岡市側でのきめ細かい受入れ体制を、行政だけでに いった課題も抱えています。 それを解決するため、NPOと力を合わせ協働事業に取り組みたいと考え そこで、移住希望者の不安を取り去り、移住がスムース行えるよう、移住 た提案、例えば、「静岡の住むならこの街がおすすめツアー」の開催、「移住 こ	一」を開設し ての移住者歓 、体験、移住、 は築けないと えています。 者に寄り添っ
ュによる何でも相談所」の設置、移住希望者と地域の方との「この地域の良い イチなとこ座談会」の開催、ネット上に市民の皆さんを巻き込んだ「移住情報版」を開設するなど、NPOの方ならではのアイディアをお待ちしています	報何でも掲示

No.	課 題 テ ー マ	事業担当課
2	平日の動物園来園者増加策	日本平動物園 (お問合せ 262-3251)
市の抱える課題	これまで本園では、各獣舎のリニューアルや、夜の動物園等のイベントを開催するなどし、着実に来園者数を延ばすとともに、お客様の満足を高めてきました。しかしながら、来園者がゴールデンウィークや、土・日・祝に集中し、平日には少なくなる傾向があります。 そのため、NPOが持っているノウハウを動物園という場で発揮していただき、これまでとは違ったイベントを企画・実施することで、平日の来園者数を延ばしていただきたいと考えています。	

No.	課 題 テ ー マ	事業担当課
3	地域で暮らす障がい者との「共助」を念頭に置いた	障害者福祉課
3	地域防災訓練実施内容の企画及び実施	(お問合せ 221-1197)
市	災害時における「自助」及び「共助」が重要視されているなか、	災害時に支援を必要と
の	する障がいのある人が地域にいることを認識し、障がい者にも配り	載した防災訓練を実施す
抱	る必要性が高まっています。	
え	一方で、地域防災訓練への障がい者の参加が少ないという課題	もあります。その理由の
る	ひとつとして、「障がい者に配慮された訓練ではなく、参加して	も奇異な目で見られるの
課	が辛く、参加する意味があるのか疑問を感じてしまう。」との意見	見もありました。
題	地域において障がい者にも配慮した防災訓練を実施することで	、障がい者の防災訓練へ
	の参加率を高め、地域で支え合う意識と高め、ひいては地域の総合	合的な防災力を高めるた
	め、障がい者との「共助」を念頭に置いた協働事業を実施できる!	NPOからの提案を希望
	しています。	

No.	課 題 テ ー マ	事業担当課
4	障がい者の工賃向上に寄与する取組みの企画及び実施	障害者福祉課
4		(お問合せ 221-1197)
市	工賃とは、一般就労は困難であるが就労を希望する障がい者が	、障害福祉サービス事業
の	所で支援を受けながら、商品の製作や下請作業に従事し、その対何	西として支払われる金銭
抱	のことです。	
え	これまで本市では、自主製品(障害福祉サービス事業所で障害のある人が製作する物品)	
る	の販売に対して、「民間商業施設へのアンテナショップの設置」助成、「公共施設への販売	
課	所」支援、庁内や関係組織における「事業所製品の積極的利用の「	呼びかけ」等の支援を行
題	ってきました。	
	しかし、平成 25 年度末の平均工賃は月額 12,465 円に留まって	おり、障がい者の自立の
	ためには、工賃を向上させる必要があります。	
	そのため、障がい者の工賃を向上させ、自立につなげていくため	りの「新たなアイディア」
	と、それを実現する「実行力」のあるNPOとの協働事業の実施	を希望しています。

No.	課 題 テ ー マ	事業担当課
5	障がい児・者が専門機関から地域歯科医院へ	歯と口の健康支援センター
5	円滑に移行できるために	(お問合せ 249-3147)
市	静岡市障害者歯科保健センターでは、障がいのある方と	その家族が歯と口の事で困るこ
の	となく健やかに暮らせるまちづくりを目指しています。	
抱	現在、「県立こども病院」、「静岡医療福祉センター」、「静岡市障害者歯科保健センター」	
え	といった障がい児・者の受け入れ専門機関では、障がいり	己・者の受診が集中することで、
る	慢性的な混雑状態にあるといった課題を抱えています。	
課	そのため、専門機関から地域の歯科医院での受診への移	行を促しているものの、本人や
題	家族は、地域の歯科医院での受け入れ態勢に不安を感じ、また、地域の歯科医療側も受け	
	入れに対し不安を感じていることで、なかなか移行できない現状があります。	
	これを解決するため、障がい児・者が円滑に地域の歯科医療機関への受診に移行できる	
	よう、ノウハウや専門技術を持つNPOと協働させていた	:だきたいと考えています。

No.	課 題 テ ー マ	事業担当課	
6	「松くい虫」ってなんだろう?	治山林道課	
	· 14 (0 · 24] 5 (· 6 / 6 / 6 / 6) .	(お問合せ 354-2145)	
市	世界文化遺産「富士山」の構成資産である三保松原を世界に誇れる美しい景観を後世に		
の	残すためには、官・民一体となった松林を守る取組みが必要となっています。		
抱	三保松原において、松枯れをおこす主な原因は、「マツ材線虫」と、それを媒介する		
え	「マツノマダラカミキリ」によるものです。		
る	しかし三保地区の方を始め、市民の多くが松枯れの原因を、実際には存在していない		
課	「松くい虫」のせいであると誤解しています。		
題	「松枯れのメカニズム」、「防除事業の必要性」、「松の生育に適した環境」等について		
	の正しい知識を広め、地域やボランティア団体と一体となって保全に取組む必要がありま		
	す。		
	そのため、「松を守り育てる」ことに関し専門知識を有するN	POと協働することで、	
	松に対する正しい知識を分りやすく市民の皆さまにお知らせし、今後の三保松原の保全に		
	結び付けていきたいと考えています。		
	また、協働事業例としては、「専門的な説明員の育成と配置」、「現場での説明用のパ		
	ネル、又は説明用のチラシ等の作成」、「小中学校に親しみやすい漫画形式の冊子の作成」		
	等が想定されます。		

No.	課 題 テ ー マ	事業担当課
7	駿河区内の自主防災組織や、駿河区在住の学生などを	駿河区地域総務課
'	対象とした地域防災力の向上	(お問合せ 287-8682)
市	南海トラフの巨大地震の危険性が叫ばれる中、地域防災力の向よ	上は喫緊の課題となって
の	います。このためには自分の身は自分で守る、みんなの地域はみ	んなで守る「自助」・「共
抱	助」の意識の醸成が重要です。	
え	しかし、一口に防災力の向上と言っても、課題は多方面の分野	にわたり、医療救護、ボ
る	ランティアなど、それぞれの専門家でなければ支援が難しい分野	もあります。従って、市
課	民の皆さまの「自助」・「共助」の意識を高めることは、行政が独	自に取組むよりも、多様
題	な経験や専門性を有するNPOと協働し取組む方が、より高い効!	果を得られる分野もある
	と考えています。	
	協働事業の具体例としては、「避難所運営訓練」、「市民トリア-	ージ訓練」、「女性への災
	害支援についての学習」、「若年者を対象にした訓練」などが想定	されます。